

2025 年度の評価と 2026 年度の取り組み項目・目標

I. 2025 年度の評価

◎：重点的に取り組む、実施・完成など
○：通常に取り組む、検討、準備など

1. 倫理委員会(全体)

2025 年度	内容		具体的な遂行状況	評価
1	士会・協会倫理連携窓口との連携方法の再構築	◎	①47 都道府県士会全てに「士会・協会倫理連携担当者」が設置(完了) ②「士会・協会倫理連携担当者情報交換会」を 2 回開催 ③士会における倫理対応体制の整備のための資料作成・提供	達成
2	「協会員＝士会」の進捗と 現行倫理規約等との整合性の確認	○	協会の方針変更による、現行の規約等で変更の必要性無しで確認	確認済
3	協会事務所内の倫理対応体制整備の進捗状況確認	△	取り組み作業開始	経過途中
4	組織構成の確認	○	確認→現行体制継続	確認済
5	カスタマーハラスメントの法制化への対応	○	法制化 →施行日に向け、周知・啓発資料作成予定	遂行中
6	国の倫理に関する動向の把握と対応	○	①「精神科病院における業務従事者による障害者虐待の状況等」に関する 新たな倫理関連情報の提供と注意・啓発	遂行中
7	計画外取り組み項目	○	① 士会へ注意喚起文の発送(士会内活動におけるハラスメント等)	実施済

振り返り(自由記載)

2. 教育関連倫理推進係

2025 年度	内容		具体的な遂行状況	評価
1	ハラスメントアンケートについて	○	アンケートの案は作成した。教育部と会議を行いどのような形でアンケートを行っていくのか今後も検討していく。	遂行中
2	「倫理事例集」の修正	○	倫理事例集の法律改正に伴う情報更新を行う。	遂行中
3	倫理に関する教育内容と教育体制の整備 ③倫理事案教育を卒前教育、卒後教育に導入	○	倫理事例集の学生向け・教員向け・実習指導者向けのパンフレットの作成案は作成している。	遂行中
4	研究倫理に関する倫理委員会での処分量定などの検討	○	倫理事例集の学生向け・教員向け・実習指導者向けのパンフレットの作成	遂行中

振り返り(自由記載)

・研究倫理に関する処分量定などを学術部と共に検討した。またハラスメントアンケートの実施に向けて教育部など検討した。

3. 体制整備係

2025 年度	内容		具体的な遂行状況	評価
1	職場における倫理対応体制の支援 職場リーダー研修の実施	○	・未実施	遂行中
2	職場における倫理対応体制の支援 職場における倫理対応体制整備に資する情報提供	○	・提供資料の見直し中	遂行中
3	士会・協会の連携による倫理対応体制の構築・運用 士会倫理担当者情報交換会の実施(2回)	◎	①47 都道府県士会に「士会・協会倫理連携担当者」の設置 ②士会・協会倫理連携担当者情報交換会(第 1 回 2025 年 9 月)(第 2 回	達成

			2026 年 2 月 21 日)	
4	士会における倫理対応体制整備に資する情報提供	◎	・士会における倫理対応体制の実態調査結果報告 ・「士会で倫理対応体制を整備する際の手順書(案)」「現状を確認する際のチェックシート」提供、青森県作業療法士会での活用例の紹介	遂行中
5	士会との情報交換・情報共有体制(ツール)の検討	○	・情報収集中	遂行中

振り返り(自由記載)

・「士会で倫理対応体制を整備する際の手順書(案)」「現状を確認する際のチェックシート」については、各士会に活用いただきご意見や感想をもとにブラッシュアップして完成を目指すこととした。

4. 広報係

2025 年度	内容		具体的な遂行状況	評価
1	会員への情報提供 国等の動向に関する情報の提供	○	ホームページデザインの変更に備えて、倫理委員会としての意見を検討	達成
2	士会への情報提供 倫理委員会内情報(事務処理方法、関係書類など)の提供	○	各士会倫理委員会を運営してための書類や情報等の提供を体制整備係と連携して行っていく	達成
3	士会への情報提供 国等の動向に関する情報の提供	○	随時ホームページにて情報提供を行う	達成
4	士会への情報提供 倫理問題履歴(倫理事例集、倫理対応事例集など)の提供	○	周知啓発係と連携しながらホームページや機関誌で事例集等の広報を行っていく	達成

振り返り(自由記載)

5. 倫理問題対応係

2025 年度	内容		具体的な遂行状況	評価
1	3・4 年経過した現行書類検証・見直し	◎	確認結果「見直しの必要無し」	確認済
2	処分履歴の集積・加工・保存と活用方法の検討・決定・実施	◎	①倫理問題事案処分履歴集(編集目的、編集方法、使用範囲等)確定 ②編集(済・蓄積) → 倫理審査会に活用開始	①確定 ②活用開始
3	相談履歴の集積・加工・保存と活用方法の検討・決定・実施	○	①1回/3か月の頻度で倫理委員会において報告 ②過去の対応履歴を編集開始(試作) → 令和8年度提示・確定へ！	①報告 ②開始

振り返り(自由記載)

Ⅱ. 2026 年度の取り組み・目標

◎：重点的に取り組む、実施・完成など
○：通常に取り組む、検討、準備など

1. 倫理委員会(全体)

2026 年度	内容		具体的な取り組み・目標
1	職場における倫理対応体制の整備のための資料	◎	①全体構成(整備項目)の作成 ②項目ごとの資料作成(順次)、提示、周知
2	カスタマーハラスメントの法制化への対応準備(施行日:10月)	◎	①職場内カスタマーハラスメント対応資料
3	国の倫理に関する動向の把握と対応	○	

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

--

2. 教育関連倫理推進係

2026 年度	内容		具体的な取り組み・目標
1	養成施設の倫理に関する周知啓発と体制整備	◎	①養成校教員を対象の講演会(26年度)開催 2026年度予算を確認後、企画実行(講師候補:神奈川県立保健福祉大学 津野佳奈美氏) ②事例集「作業療法士の教育に関する倫理とハラスメント」活用 →学生向け教材・資料等の作成 →教員向け教材・資料等の作成

			③教育部の担当課と協力し、「学生および指導者に対する実習終了後アンケート」を作成し、実施体制を整備する ④事例集の法律改正に伴う改訂
2	実習施設の倫理に関する周知啓発と体制整備	○	事例集「作業療法士の教育に関する倫理とハラスメント」活用 →実習指導者向け教材・資料等の作成 教育部の担当課と協力し、「学生および指導者に対する実習終了後アンケート」を作成し、実施体制を整備する
3	国の倫理に関する動向の把握と対応	○	学術部・研究倫理委員会と議論し処分量定や倫理問題に対する対応方法を検討する。

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

3. 体制整備係

2026 年度	内容		具体的な取り組み・目標
1	職場における倫理対応体制整備の支援	◎	職場における倫理対応体制の整備のための資料検討・作成 ①全体構成(整備項目)の作成 ②項目ごとの資料作成(順次)、提示、周知
2	士会・協会の連携による倫理対応体制の構築・運用	◎	士会・協会倫理連携担当者情報交換会の開催 ①「士会で倫理対応体制を整備する際の手順書(案)」に関する意見聴取 ②倫理体制整備に資する情報提供

			③取り組み項目 4、5 について提案と意見聴取
3	士会における倫理対応体制整備に資する情報提供	○	士会における倫理対応事例集の検討
4	地域ごとの士会間情報交換の場の設置	○	士会・協会倫理連携担当者情報交換会での提案と意見聴取
5	士会との情報交換・情報共有体制(ツール)の検討と構築・運用	○	協会ホームページ、掲示板の活用方法について検討し、士会・協会倫理連携担当者情報交換会での提案と意見聴取

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

--

4. 広報係

2026 年度	内容		具体的な取り組み・目標
1	会員への情報提供 国等の動向に関する情報の提供	○	① ホームページに新規情報を随時掲載していく
2	士会への情報提供 倫理委員会内情報(事務処理方法、関係書類など)の提供	○	① 各士会倫理委員会を運営するための書類や情報等の提供を体制整備係と連携して行っていく
3	士会への情報提供 国等の動向に関する情報の提供	○	① 随時ホームページにて情報提供を行う
4	士会への情報提供 倫理問題履歴(倫理事例集、倫理対応事例集など)の提供	○	① 周知啓発係と連携しながらホームページや機関誌で事例集等の広報を行っていく

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

--

5. 倫理問題対応係

2026 年度	内容		具体的な取り組み・目標
1	「実習」・「士会活動」、「協会活動」におけるハラスメント事案への対応方法の作成	◎	①処理フローの作成 ②関連書式の作成
2	会員処分の標準例・処分量定一覧の改定	◎	「事務処理」、「研究活動」、「士会・協会活動」に関する倫理処分
3	倫理問題事案の管理体制の整備	◎	①種別・番号付与区分による関係情報の管理 ②処理進捗状況の管理

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

--